



— 備前国分寺跡 両宮山古墳 —

しせき 史跡だより 第1号

岡山県赤磐市教育委員会 平成23年4月1日発行

ななじゅうのとう

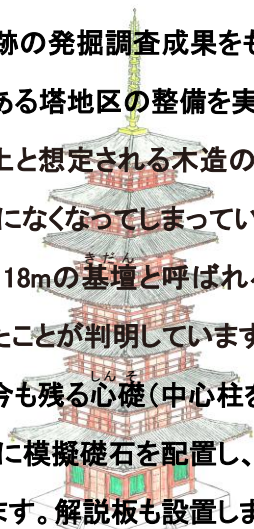
いよう

七重塔の威容を再現

備前国分寺跡の発掘調査成果をもとに、国分寺のシンボルである塔地区の整備を実施しました。

高さ60m以上と想定される木造の七重塔は、すでに平安時代になくなってしまっていますが、発掘調査で一辺約18mの基壇と呼ばれる土台の上に建てられていたことが判明しています。

復元では、今も残る心礎（中心柱を支えた礎石）の大石を中心に模擬礎石を配置し、建物の大きさを表示しています。解説板も設置しました。

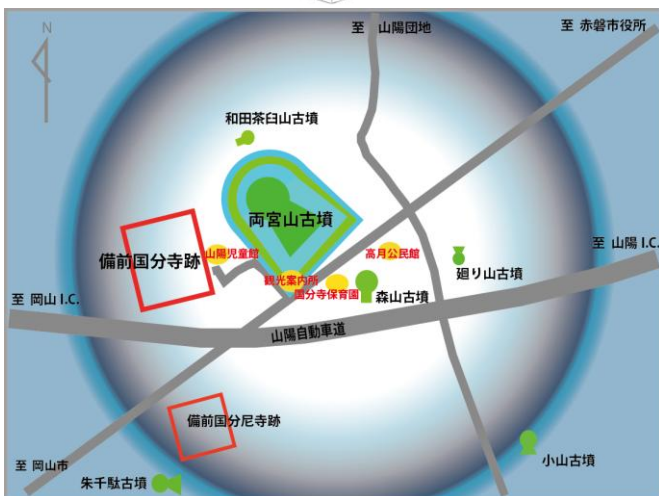


創刊にあたって

赤磐市は、豊かな自然に恵まれ、さらに吉井川や古代山陽道などの交通の要衝として、古代からの貴重な文化遺産が数多く残されています。これらの文化財は、我々の郷土の歩みを知るかけがえのない財産であり、大切に保存し後世に伝えていきたいものです。

とりわけ、国史跡に指定されている両宮山古墳（穂崎・和田）と備前国分寺跡（馬屋）周辺には重要な遺跡が集中しており、この地域が地方政治・文化の拠点として栄えたことを物語っています。赤磐市では、これらの遺跡を赤磐の歴史を体感、学習する場として活用、継承していくために、一体的な歴史公園ゾーンとして整備を図っていこうと考えています。

平成 21 年度から史跡備前国分寺跡の保存整備工事に着手し、平成 23 年3月には塔基壇の整備工事が完了しました。部分的ではありますが、史跡の公開ができましたこの機会に、市民の方々に備前国分寺跡と両宮山古墳周辺の遺跡についての情報発信を目的として、本史跡だよりを創刊します。史跡に関する情報、出来事についてお伝えできればと思います。



びぜんこくぶんじあと りょうぐうざんこふん
史跡備前国分寺跡・両宮山古墳周辺図



国分寺跡に子どもたちの作品 がずらり ～あかいわアートラリー2010～

去る平成22年10月23日から11月7日に赤磐市在住のアーティストと市民が参加したアートきょうえんの競演があかいわアートラリー実行委員会により開催されました。その会場として、備前国分寺跡が利用され、親子参加で製作された埴輪等が約150作品展示されました。作品はどれも力作が勢ぞろいし、多くの見学者が訪れ、史跡を背景とした赤磐らしいアートとなりました。住民交流の場としての新たな史跡の活用法と考えられます。

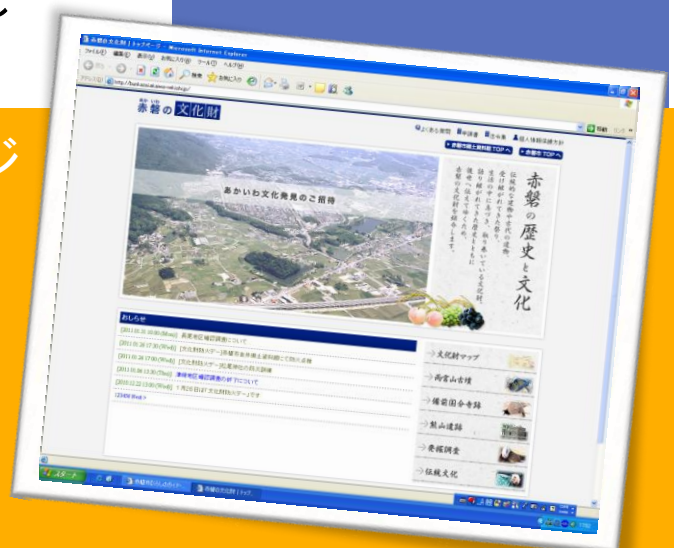


あかいわ ぶんかざい 紹介「赤磐の文化財」ホームページ

ホームページ「赤磐の文化財」において、市内に所在する文化財のマップや発掘調査・伝統文化の情報を掲載しています。

随時、史跡整備や発掘調査の最新情報をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

赤磐市公式ホームページからもアクセスできますが、アドレスは下記のとおりです。



ホームページアドレス <http://bunkazai.akaiwa-rekishi.jp/>